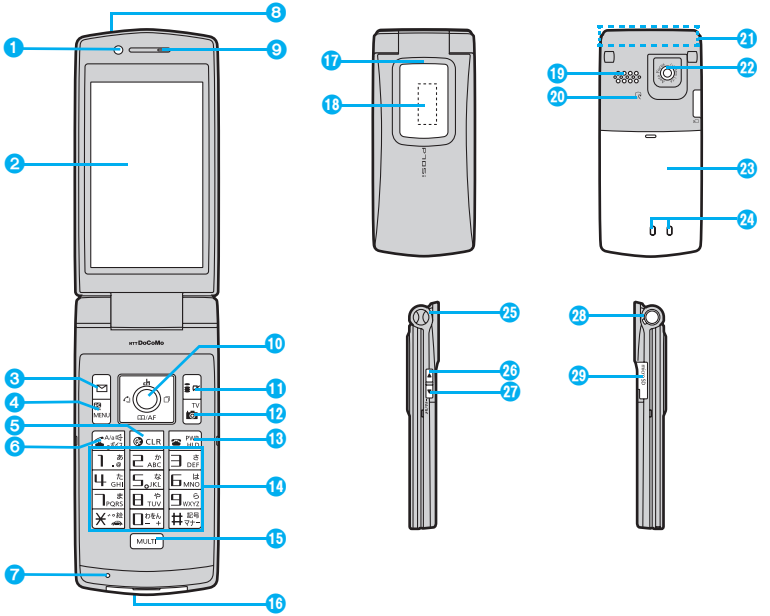
ご使用前の確認

各部の名称と機能 26
ナビゲーション表示とボタン操作について 28
ディスプレイの見かた 29
アイコンの説明を表示する . . . . . ＜表示アイコン説明＞ 31
プライベートウィンドウについて 31
メニューの選択方法について 32
シンプルメニューを利用する 36
ボタン操作を忘れてしまったとき . . . . . ＜使いかたナビ＞ 37
FOMAカードを使う 37
電池パックの取り付けかた／取り外しかた 40
FOMA端末を充電する 41
ボタン操作でFOMA端末を開く . . . . . ＜ワンプッシュオープン＞ 43
電池残量の確認のしかた . . . . . ＜電池残量＞ 43
電源を入れる／切る . . . . . ＜電源ON／OFF＞ 44
初期設定を行う . . . . . ＜初期値設定＞ 45
日付・時刻を合わせる . . . . . ＜時計設定＞ 45
世界各国の時刻を表示する . . . . . ＜ワールドウォッチ＞ 46
相手に自分の電話番号を通知する . . . . . ＜発信者番号通知＞ 46
自分の電話番号を確認する . . . . . ＜自局番号表示＞ 47

各部の名称と機能



❶光センサー
・明るさを感知する(P.104参照)

❷ディスプレイ(表示部)
(P.29参照)

❸✉メールボタン
・メールメニューを表示(P.198参照)
・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.28参照)
＜1秒以上押すと＞
・ｉモード問い合わせを行う(P.193参照)

❹MENUメニューボタン／ICカードロックボタン
・メインメニューを表示(P.32参照)
・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.28参照)
＜1秒以上押すと＞
・ICカードロックをかける(P.252参照)

❺CLRクリアボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す
＜1秒以上押すと＞
・メインメニューをリセットする(P.107参照)

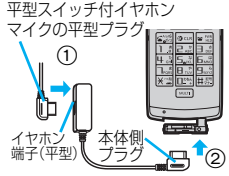
❻📞開始ボタン／ハンズフリーボタン
・電話をかける／受ける(P.50、P.63参照)
・ハンズフリーで通話する(P.62参照)
＜1秒以上押すと＞
・ボイスダイヤルを呼び出す(P.91参照)

❼送話口
・自分の声をここから相手に送る

❽赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用(P.326、P.329参照)

❾受話口
・相手の声をここから聞く

■平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を使用するときは
外部接続端子用イヤホン変換アダプタ(試供品)に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続して使用します。
1. 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の平型プラグをイヤホン端子(平型)に差し込む(①)
2. 本体側プラグをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(②)
本体側プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、カバーと本体側プラグを一緒に持たないようにご注意ください。

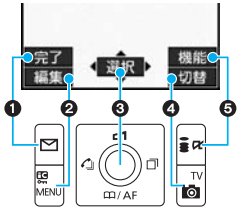


⑩○コマンドナビゲーションボタン
・機能操作やメニュー操作を行う(P.28参照)
⑪iモードボタン／iアプリボタン
・iモードメニューを表示(P.154参照)
・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.28参照)
＜1秒以上押すと＞
・iアプリのソフト一覧画面を表示(P.229参照)
⑫カメラボタン／ワンセグボタン
・「フォトモード」でカメラを起動(P.138参照)
・カメラ起動中にカメラモードを切り替える(P.143参照)
・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.28参照)
＜1秒以上押すと＞
・ワンセグを起動(P.257参照)
⑬電源／終了ボタン
・通話を終了する　・各機能を終了する
・電源を入れる(1秒以上)／切る(2秒以上)(P.44参照)
⑭ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力
●(#)(1秒以上)
マナーモードに設定(P.98参照)
●(*)(1秒以上)
公共モード(ドライブモード)に設定(P.68参照)
●(5)(1秒以上)
バックライトの点灯／消灯を切り替える(P.104参照)
●(8)(1秒以上)
ビューブラインドを設定／解除(P.105参照)
⑮MULTIマルチボタン
・マルチタスクメニューを表示(P.362参照)
＜1秒以上押すと＞
・複数の機能が起動中に機能を切り替える(P.361参照)
⑯外部接続端子
・ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)、FOMA充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続
⑰着信／充電ランプ
・電話の着信時／通話中／メールの受信時などに点滅(P.108参照)
・充電中に赤色に点灯
⑱プライベートウィンドウ
(P.31参照)
⑲スピーカー
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く(P.62参照)
⑳FeliCa マーク
・ICカードを搭載
●このマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。(P.245参照)
㉑FOMAアンテナ／ワンセグアンテナ
・ワンセグ放送を受信(P.254参照)
●FOMAアンテナ、ワンセグアンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話／受信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
㉒カメラ
・人や風景を撮影(P.132参照)
・テレビ電話時に人や風景を映す
㉓リアカバー
・電池パック、FOMAカードの付け外しをするときに取り外す(P.37、P.40参照)
㉔充電端子
㉕ストラップ取り付け穴
㉖▲サイド上ボタン
・ページ単位で上にスクロールする
＜開いた状態で1秒以上押すと＞
・2in1を「ON」に設定(P.405参照)
㉗▼サイド下ボタン
・ページ単位で下にスクロールする
・伝言メモなどを利用(P.71参照)
・不在着信・新着メールを確認(P.110参照)
＜閉じた状態で1秒以上押すと＞
・マナーモードに設定(P.98参照)
㉘ワンプッシュオープンボタン
(P.43参照)
㉙microSDメモリーカード差し込み口
・microSDメモリーカードをここに差し込む(P.313参照)

ナビゲーション表示とボタン操作について

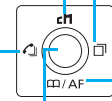
表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て



❶	ボタンで行う操作を表示	完了
❷	MENUボタンで行う操作を表示	編集 登録
❸	ボタンで行う操作を表示	選択 確定
	ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向を表示	
❹	ボタンで行う操作を表示	切替 詳細
❺	ボタンで行う操作を表示	機能 設定

■コマンドナビゲーションボタンの操作



上
・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・待受画面で押すとチャネル一覧画面が表示されます。(P.177参照)
・入力した文字をカタカナ、漢字などに変換します。(P.385参照)

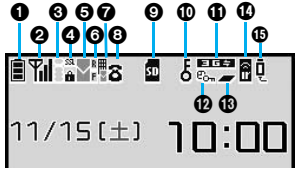
左／着信履歴
・カーソルを左方向へ移動します。
・待受画面で押すと着信履歴が表示されます。1秒以上押すと受信アドレス一覧が表示されます。(P.55、P.207参照)
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中に前のページに戻ります。

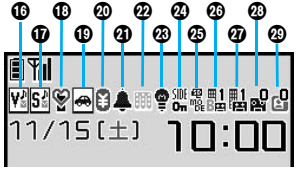
決定ボタン
・操作を決定します。

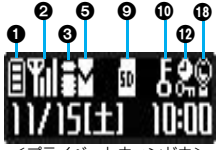
右／リダイヤル
・カーソルを右方向へ移動します。
・待受画面で押すとリダイヤルが表示されます。1秒以上押すと送信アドレス一覧が表示されます。(P.55、P.207参照)
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中に次のページを表示します。

下
・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・待受画面で押すと電話帳検索画面が表示されます。1秒以上押すと電話帳登録できます。(P.80、P.85参照)
・入力した文字を漢字、カタカナなどに変換します。(P.385参照)
・カメラで撮影するとき、フォーカスを合わせます。(P.143参照)

ディスプレイの見かた







<プライベートウィンドウ>

❶		電池残量(目安)(P.43参照)
❷		電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
	圏外	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
	self	セルフモード中(P.122参照)
❸		iモード中(P.154参照)
		iモード通信中(P.154参照)
		パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
		ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.425参照)
❹	SSL	SSL通信中(P.155参照)
❺	(ピンク)	未読iモードメール・SMSあり(P.192、P.223参照)
	(紺色)	FOMA端末内のiモードメール・SMSが一杯(P.192、P.223参照)
		FOMAカード内のSMSが一杯
	(ピンク)	未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
	(紺色)	FOMA端末内・FOMAカード内の両方が一杯
		エリアメールあり(P.216参照)

❻	R F(黄色)	未読メッセージR/Fあり(P.213参照)
	R F(紺色)	FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.214参照)
❼	(ピンク)	iモードセンターにiモードメールあり(P.193参照)
	(紺色)	iモードセンターのiモードメールが一杯(P.192参照)
	F(黄色)	iモードセンターにメッセージR/Fあり(P.214参照)
	F(紺色)	iモードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.214参照)
		メール選択受信設定を「ON」に設定中にiモードセンターにiモードメールあり(P.193参照)
❽		音声電話中
	64	テレビ電話中(64K)
	32	テレビ電話中(32K)
		64Kデータ通信中
❾	SD	microSDメモリーカードを装着中(P.314参照)
		microSDメモリーカードのデータを読み込み／書き込み中
	SD	ライトプロテクトがかかったmicroSDメモリーカードを装着中(P.314参照)

❾	SD	装着しているmicroSDメモリーカードが使用不可(P.314参照)
		microSDメモリーカードを装着し、microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)接続中(P.321参照)
		microSDメモリーカードを装着し、MTPモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)接続中(P.321参照)
❿		オールロック中(P.120参照)
	P	パーソナルデータロック中(P.122参照)
	D	ダイヤル発信制限中(P.124参照)
	S	シークレットモード、シークレット専用モード中(P.125参照)
	IC	ICカードロック中(P.252参照)
	D P	ダイヤル発信制限中・パーソナルデータロック中
	D S	ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
	IC	ICカードロック中・オールロック中
	IC P	ICカードロック中・パーソナルデータロック中
	IC D	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中

つづく

⑩		ICカードロック中・シークレットモード、シークレット専用モード中
		ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・パーソナルデータロック中
		ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
⑪		利用中のネットワークの種類(P.421参照)
		OFFICEEDエリア内にいるとき(P.411参照)
⑫		閉じタイマーロック設定中(P.123参照)
⑬		マルチタスク中(P.361参照)
		複数の機能が起動中(P.361参照)
		ワンセグ視聴中(P.257参照)
		ミュージック再生中(P.348参照)
		ミュージック一時停止中(P.348参照)
⑭		赤外線通信中(P.326、P.329参照)
⑮		通信モードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)接続中
		microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)接続中(P.321参照)
		USBハンズフリー対応機器で通話・通信中(P.63参照)
		USBハンズフリー対応機器接続中(P.63参照)
		microSDモードでUSBハンズフリー対応機器接続中(P.63参照)
⑯		バイブレータ設定中(P.95参照)
⑰		着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中(P.67、P.97参照)
⑱		マナーモード中(P.98参照)
⑲		公共モード(ドライブモード)中(P.68参照)
⑳		通話料金が設定した上限値を超過(P.377参照)
㉑		アラーム設定中(P.267、P.365参照)
㉒		Music&Videoチャネル番組予約中(P.338参照)
㉓		バックライトを「OFF」に設定中(P.104参照)
㉔		サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中(P.124参照)
㉕		USBモード設定を「microSDモード」に設定中(P.321参照)
		USBモード設定を「MTPモード」に設定中(P.321参照)
㉖	1 ～ 5・	2in1のモードがデュアルモードの場合で、Bナンバーへ留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.410参照)
㉗	1 ～ 5・	留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.394参照)
㉘	0 ～ 5	伝言メモの録音件数(P.70参照)
㉙	0 ～ 2	テレビ電話伝言メモの録画件数(P.70参照)

- ⑭⑮のアイコンが表示されているときは、画面右上の時計は表示されません。
- 待受画面が表示されているときは、お知らせアイコンや貼り付けアイコンが表示されます。(P.111参照)

お知らせ

- ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。また、プライベートウィンドウはモノクロで表示されます。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本書ではカラー画面を白黒で記載しているため、実際の画面とは色調が異なります。

<表示アイコン説明>

アイコンの説明を表示する

MENU 3 6

画面の上部に表示されるマーク(など)をアイコンといいます。
選択したアイコンの意味は画面上で確認できます。

1 MENU▶設定▶ディスプレイ▶表示アイコン説明▶でアイコンを選ぶ

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウには、さまざまな情報が以下の例のように表示されます。
FOMA端末を閉じた状態で▲▼を押すと、プライベートウィンドウに情報が約15秒間表示されます。

時計

発信中

着信中

音声通話中

スケジュールアラーム

不在着信があったときは

FOMA端末を閉じているときは「着信あり」が表示されます。
▲を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。
複数の不在着信があった場合、▲を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。

- 不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
- 他の機能が起動中は、不在着信履歴が表示されないことがあります。
- 不在着信履歴を表示すると「着信あり」は消えます。

新着メール、新着メッセージR/Fがあったときは

FOMA端末を閉じているときはFeel＊Mail画像が再生され、「メールあり」が表示されます。
▲を押すと最新のFeel＊Mail画像が再生されます。(メッセージR/FではFeel＊Mail画像は再生されません。)
P.103「メール表示」を「ON」に設定している場合は、メールの受信日時、送信元、題名や、メッセージR/Fの受信日時、題名が表示されます。電話帳に登録している相手からメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。複数のメール、メッセージR/Fを受信していると、「メールあり」が表示された状態で▲を押すごとに3件までのメール、メッセージR/Fが表示されます。

- Feel＊Mail画像再生や受信日時などの表示は、▲を押すと終了します。
- セキュリティが設定されているBOX･フォルダへのメール、メッセージR/Fは、Feel＊Mail画像の再生や受信日時などの表示は行われません。
- 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて、待受画面以外を表示中にメール、メッセージR/Fを受信したときは、情報は表示されずに「メールあり」が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」の設定によっては、メッセージR/Fを受信したときに、情報は表示されずに「メールあり」が表示されます。
- 受信したメール、メッセージR/Fの受信日時などを表示すると「メールあり」は消えます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメール、メッセージR/Fを受信したときは、「受信表示設定」を「通知優先」に設定していても情報は表示されません。
- 「シークレットメール表示設定」を「表示しない」に設定している場合、通常モードでシークレットメールを受信するとFeel＊Mail画像は再生されません。

iチャネルを受信したときは

P.103「iチャネルテロップ表示」が「ON」の場合、FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウにテロップが再生されます。

- ▲▼を押すと、テロップ再生は終了します。

時計の表示を変更する

時計を表示しているときに▲を押すと、表示内容を変更できます。

時刻のみ

アイコンと日付／時刻

メニューの選択方法について

FOMA端末では(MENU)を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。

- (MENU)を押す以外の操作でも機能を選択できるものがあり、本書では簡単に選択できる方法で記載しています。
- 基本機能に絞って使いやすくしたシンプルメニューに切り替えることもできます。(P.36参照)
- 本FOMA端末は、きせかえツール(P.106参照)に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。
  また、メニュー項目に割り当てられている番号(メニュー番号)が適用されないものがあります。
  この場合、本書での説明どおりに操作できないため、基本構造メニューに切り替えるか(P.107参照)、メニュー設定をリセット(P.107参照)してください。
  「メニューアイコン設定」をきせかえツールの「ドコモダケ_P705i」で設定している場合、大項目の「基本メニュー呼び出し」を選択すると、一時的に通常のメニュー構造に戻すことができます。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした12個の大項目アイコンで構成されています。

- 大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。
- 選択を繰り返して設定、確認を行います。

■メニュー番号選択

機能によっては、(MENU)+メニュー番号(P.430参照)を押すと表示されます。

■マルチタスクに対応

- メインメニューの中には、同時に使用することができる機能もあります。(P.361参照)

スクロール選択

本書では、コマンドナビゲーションボタンの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの(●))を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

大項目のアイコン　中項目　小項目の機能名称

1 (MENU)▶設定▶通話▶通話品質アラーム▶アラームを選択

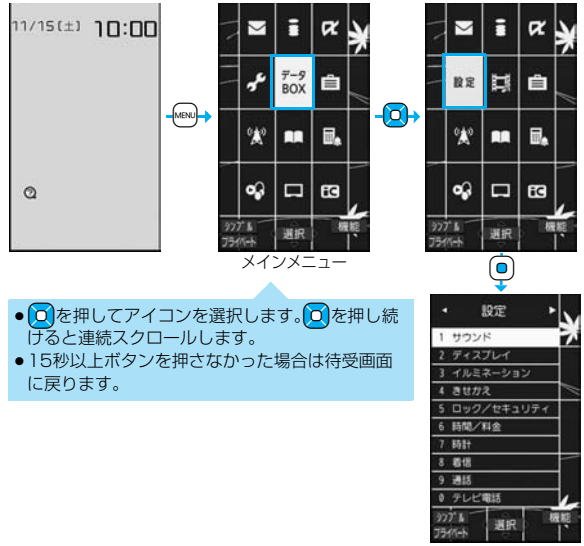
アラームなし . . . お知らせしません。
アラーム高音 . . . 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 . . . 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

ステップ

1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから「設定」を選択します。お買い上げ時のメインメニューは本体色によって異なります。(P.434参照)



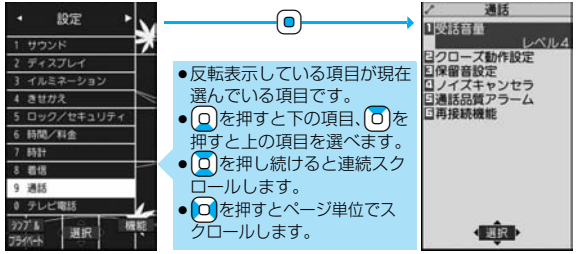
メインメニュー

- (●)を押してアイコンを選択します。(●)を押し続けると連続スクロールします。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

ステップ

2 メニュー機能の中項目を選択します

「設定」から「通話」を選択します。

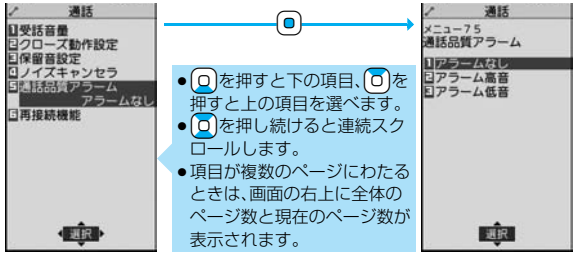


- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- [○]を押すと下の項目、[○]を押すと上の項目を選べます。
- [○]を押し続けると連続スクロールします。
- [○]を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ

3 目的の小項目(機能)を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。

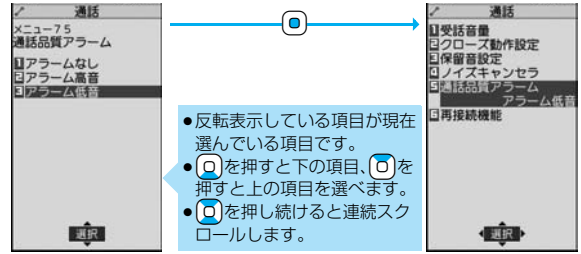


- [○]を押すと下の項目、[○]を押すと上の項目を選べます。
- [○]を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

ステップ

4 機能の設定や確認をします

機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。
操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。



- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- [○]を押すと下の項目、[○]を押すと上の項目を選べます。
- [○]を押し続けると連続スクロールします。

メニュー番号選択

ここでは以下の記載例に基づいてメニュー番号選択を説明します。

メニュー番号の記載例

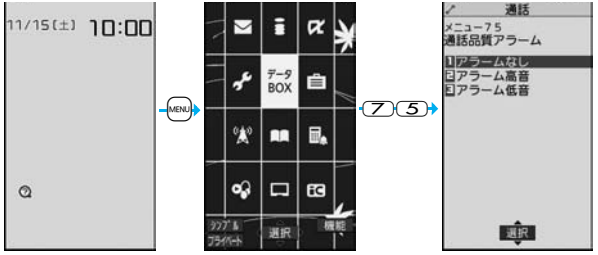
メニュー番号 MENU 7 5

＜通話品質アラーム＞
通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

ステップ

1 メニュー番号で機能を呼び出します

待受画面で MENU 7 5 を押します。



機能メニュー

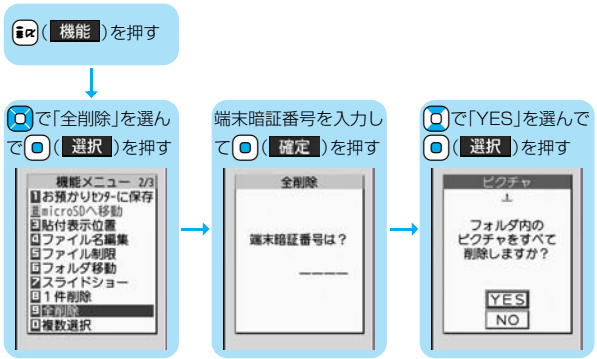
画面の右下に「 機能 」が表示されているときに i を押すと、それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目を含んだ機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。

- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。

機能メニューの記載例

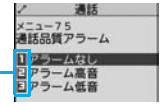
本書では、機能メニューの操作を以下のように記載しています。

実際の操作は以下のように行います。



すばやく項目を選択するには＜ダイレクト選択＞

表示されている項目番号と同じダイヤルボタンを押します。



項目のスクロールについて

メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目から(○)を押すと前、次のページが表示できます。(○)を押すとページ単位でスクロールします。▲ページ／▼ページが画面に表示されているときは、(MENU)(▲ページ)／(📷)(▼ページ)を押してもページ単位でスクロールできます。

- メニューの小項目など、表示している画面によっては、(○)の代わりに(▲)(▼)を押してもページ単位でスクロールできる場合があります。

チェックボックスについて

複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。

(○)(選択)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能によっては(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択したり、(MENU)(全選択／全解除)を押して、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

- 機能によっては選択した項目に「☑」が表示されます。

操作を終えたあとは

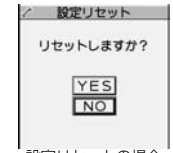
小項目の選択画面が表示されます。(☎)を押すと待受画面に戻ります(マルチタスク中を除く)。機能によっては自動的に待受画面や元の画面に戻るものもあります。

操作を途中でやめるには

(☎)を押します。設定中の内容が破棄されて待受画面や元の画面に戻ります。機能によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示される場合があります。(CLR)を押すと操作を1つ前の状態に戻せます。

「YES／NO」を選択する画面では

(○)を押して「YES」または「NO」を選び、(○)(選択)を押します。



設定リセットの場合

シンプルメニューを利用する

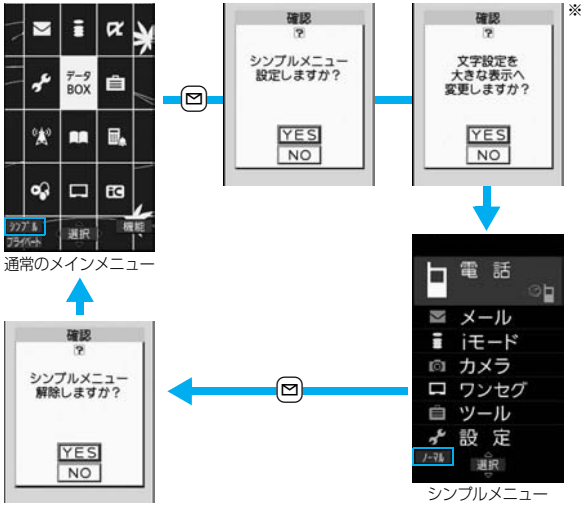
シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。

- 本書では、通常のメインメニューでの操作のみを記載しています。シンプルメニューでの操作については、各機能の該当ページを参照してください。
- マルチタスクの機能は使用できません。(P.361参照)

シンプルメニューに切り替える

通常のメインメニューとシンプルメニューを切り替えます。

待受画面で(MENU)を押します。



通常のメインメニュー

シンプルメニュー

※「YES」を選択すると、「文字サイズ設定」(P.114参照)の「メール」「iモード」「文字入力(入力サイズ)」「文字入力(候補表示サイズ)」は「特大表示」に、「電話帳」「設定」「発着信履歴」「iチャネルテロップ」は「拡大表示」に設定されます。シンプルメニューを解除してもそれぞれの設定は元に戻りません。また、すでに「拡大表示」に設定されているときは、確認画面は表示されません。

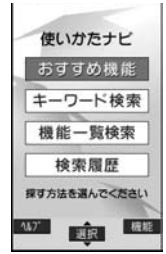
シンプルメニューの構成

＜使いかたナビ＞

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 MENU▶ステーショナリー▶使いかたナビ▶項目を選択



使いかたナビ画面

おすすめ機能. . . . おすすめの機能を表示します。手順3へ進みます。
キーワード検索. . . キーワードを入力して検索します。手順2へ進みます。
機能一覧検索. . . . 機能の一覧から検索します。手順3へ進みます。
検索履歴 . . . . . 過去の検索履歴を30件まで表示します。手順3へ進みます。

- 各項目を選んで▭(ﾍﾙﾌﾟ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。
「キーワード検索」を選んで▭(ﾍﾙﾌﾟ)を押した場合は、「キーワード検索」または「文字入力のしかた」を選択します。
- お買い上げ時にデスクトップに貼り付けられている使いかたナビのアイコン「 」を選んで、使いかたナビの画面を表示させることもできます。

2 キーワードを入力

検索結果が50件まで表示されます。
- 全角24文字/半角48文字まで入力できます。

3 機能を選択▶項目を選択

機能の説明 . . . . . 機能の説明を表示します。
操作のしかた. . . . . 操作方法を表示します。
この機能を使う . . . 機能を実行します。各機能の操作を行います。
関連機能 . . . . . 関連する機能を10件まで表示します。手順3を繰り返します。

- 機能によっては●(選択)を数回押して選択します。
- 機能を選んで▭(説明)を押しても機能の説明が表示されます。
- 検索履歴を削除するには▭(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

FOMAカードを使う

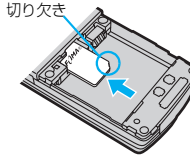
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
FOMAカードの詳しい取扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.40参照)

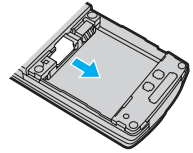
■取り付けかた

1 FOMAカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む



■取り外しかた

1 FOMAカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く



お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたとき（おまかせロック中は除く）は、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。（ただし、再度電源を入れることは可能です。）

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。（P.119参照）

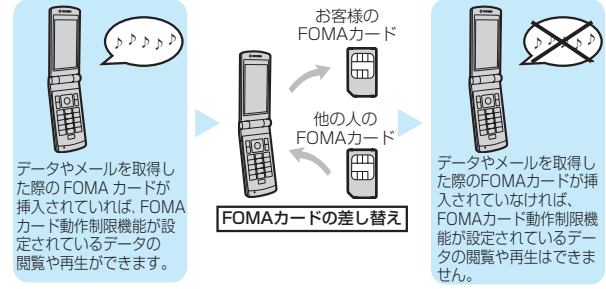
FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。

・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

- このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。



●FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「 」が表示されます。

·テレビ電話伝言メモ　·動画メモ　·メロディ　·画像　·iモーション
·iアプリ　·キャラ電　·PDFデータ　·きせかえツール
·着うた®／着うたフル®　·テンプレート　·ダウンロード辞書
·画面メモ
·受信BOX内のiモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル
·送信BOX／保存BOX内のiモードメールに添付されているファイル（ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除く）
·ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
·デコメール本文中に挿入されている画像

※あらかじめ登録されているiアプリ／キャラ電／デコメ絵文字などは、サイトから再びインストール（バージョンアップ）すると本機能の対象になります。

※「着うた」は株式会社ソニー·ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

●FOMAカード動作制限機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

お知らせ

●FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。

●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。

●赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX™通信）機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

●他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。

お知らせ

●下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。

·SMS有効期間設定　·SMS center設定　·バイリンガル
·優先ネットワーク設定　·ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定
·PIN1コード、PIN2コード　·PIN1コード入力設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード（緑色／白色）」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード		参照先
	（青色）	（緑色／白色）	
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	81
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	172
WORLD WINGの利用※	利用不可	利用可	420
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内·受付（DoCoMo インフォメーションセンター）」の利用	利用不可	利用可	402

※WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
なお、P705iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

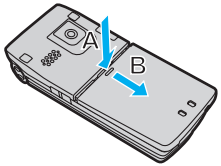
※万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失·盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失·盗難されたあとに発生した通話·通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

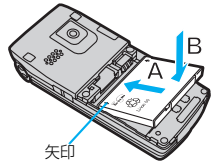
FOMA端末専用の電池パック　P16を使用してください。

■取り付けかた

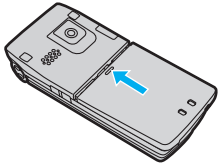
1 「▭」部分をAの方向に押しながら、ロックが外れるまで(2mm以上)Bの方向にスライドさせてリアカバーを取り外す



2 矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む

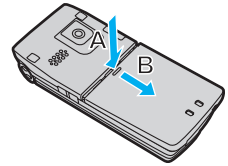


3 リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

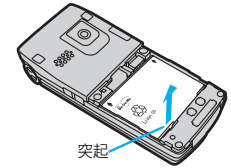


■取り外しかた

1 「▭」部分をAの方向に押しながら、ロックが外れるまで(2mm以上)Bの方向にスライドさせてリアカバーを取り外す



2 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる



お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、付け外し中にワンプッシュオープンボタンを押さないようご注意ください。
- 電池パックを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがあります。
- 無理に付けようとするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。

FOMA端末を充電する

FOMA端末専用の電池パック　P16を使用してください。

電池パックの寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion 00

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ　01／02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ　01(別売)、FOMA DCアダプタ　01／02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ　01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ　02およびFOMA海外兼用ACアダプタ　01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池パックの使用時間の目安(電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。)

連続待受時間	静止時:約570時間　　移動時:約400時間
連続通話時間	音声電話時:約190分　テレビ電話時:約130分
ワンセグ視聴時間	約320分(ECOモード時:約400分)

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラや音楽再生を使用すると通話(通信)・待受時間は短くなります。

※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。

※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセット　P01(別売)を使用して視聴できる時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、ワンセグ視聴時間は短くなることがあります。

電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ	約130分	DCアダプタ	約130分

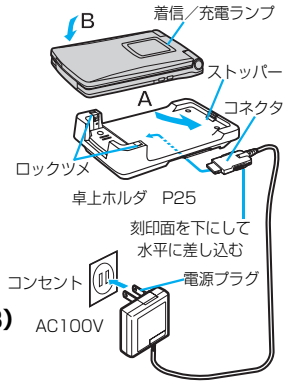
※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ(別売)を卓上ホルダ(別売)に接続する

2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

3 卓上ホルダのストッパーにFOMA端末の底部を押し込み(A)、そのままFOMA端末の頭部をロックツメに合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む(B)



着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。
再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- 充電の開始、終了時に「充電確認音」(P.97参照)が鳴ります。ただし、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、コネクタカバーや市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

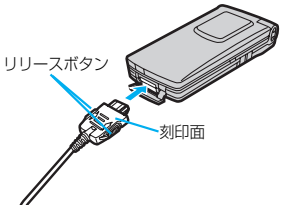
■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	ディスプレイ「▮」表示
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、「▮」は表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

ACアダプタのみで充電するときは

刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。
※ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。



■DCアダプタ(別売)
DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット(12V／24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。
詳しくはFOMA DCアダプタ　01／02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

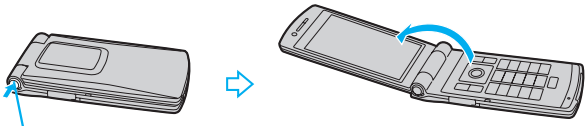
- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

＜ワンプッシュオープン＞

ボタン操作でFOMA端末を開く

ワンプッシュのボタン操作で簡単にFOMA端末を開けます。(ワンプッシュオープン)

- ボタンを使わず手で開くこともできます。
- FOMA端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。



ワンプッシュオープンボタン

お知らせ

- FOMA端末の向きによっては、ワンプッシュオープンボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。
- ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くときは、反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。

＜電池残量＞

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・十分残っているとき .....
・少なくなっているとき .....
・ほとんど残っていないとき .....

- 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電してください。

画面と音で確認する

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 MENU▶設定▶その他▶電池▶電池残量

十分残っているとき	少なくなっているとき	ほとんど残っていないとき
ピッピッピッ	ピッピッ	ピッ
十分残っています	まだ大丈夫です	そろそろ充電です

※電池残量がほとんどありません。
充電してください。

- 絵表示は約3秒後に消えます。

電池が切れるときは

右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには▲、▼以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

- 通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。

電池切れ画面

＜電源ON／OFF＞

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 (☎)を1秒以上押す

ウェイクアップ画面(P.102参照)が表示されたあと、待受画面が表示されます。

- 電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。
- 電源を入れたときに「Starting system Wait a minute」と表示された場合は、しばらく待ってから操作してください。

待受画面

FOMAカードを差し替えたときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

「FOMAカード(UIM)設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.119参照。

「通話料金通知」の「自動リセット設定」を「ON」に設定しているときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずに(CLR)または(☎)を押すと「自動リセット設定」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.119参照。

お知らせ

- 各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源を切る

1 (☎)を2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。

- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

＜初期値設定＞

初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音、文字サイズが設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。

1 電源を入れる▶YES

●端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.44の操作を行います。

2 日付時刻を設定する

「自動時刻時差補正する」または「自動時刻時差補正しない」で時刻を設定するかを選択します。(P.45参照)

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.118参照)
1.「0000」を入力▶新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.96参照)
1.ON・OFF

5 文字サイズを設定する

画面に表示される文字の大きさを一括で設定します。(P.114参照)

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、☎または CLR を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。

お知らせ

- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。
- 初期値設定を終了すると、ソフトウェア更新を自動で行う旨の確認画面が表示されます。この画面は初回のみ表示され、以降設定リセットまたは端末初期化を行うまで表示されません。

＜時計設定＞ MENU 3 1

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。時刻は24時間制で設定／表示します。

1 MENU▶設定▶時計▶時計設定▶自動時刻時差補正する・自動時刻時差補正しない

自動時刻時差補正する

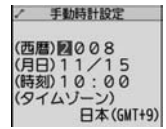
. . . . . 日付・時刻を自動で補正します。設定が終了します。
「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付・時刻を設定してください。

自動時刻時差補正しない

. . . . . 日付・時刻を手動で設定します。

●「通話料金通知」を「ON」に設定している場合、端末暗証番号の入力が必要になります。

2 年、月、日、時刻を入力



○でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。

●日付・時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」～「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。

●「タイムゾーン」を選んで✉(編集)を押すと、タイムゾーンを設定できます。○で地域を選び、●(選択)を押します。

日付・時刻の補正機能について

ネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する機能です。
「自動時刻時差補正する」に設定している状態で待受画面を表示中に時刻が補正されます。時刻をずらして設定したい場合は、手動で設定してください。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況やiアプリ待受画面に設定したiアプリによっては補正できない場合があります。
- 海外で時刻情報を受信した際、時差補正の情報が前回受信した情報と異なる場合、「時差補正を行いました」と表示され、自動的に時差が補正されます。「OK」を押すと時刻が更新されてリダイヤル、発信履歴、着信履歴、メールの送受信などの表示時間も現地時間になります。
- 海外で時差補正が行われた場合、待受画面に表示している時計の下にサブ時計（日本の日付や時刻など）が表示されます。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。

お知らせ

- 時計設定を行わないと、スケジュールなど時計を利用する機能が正しく利用できません。また、リダイヤルや着信履歴などの日時が記録されません。
- 設定した時刻は、電池パックを交換するときでも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。
- 「時計設定」を「自動時刻時差補正しない」に設定しているときや日本国内ではサブ時計は表示されません。
- 本機能で設定できるのは、2007年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

＜ワールドウォッチ＞

世界各国の時刻を表示する

指定した地域の時刻を待受画面の時計の下に表示します。

1 MENU▶設定▶時計▶ワールドウォッチ▶ON・OFF▶●で地域を選んで●（選択）

お知らせ

- 「画面表示設定」→「時計」→「時計表示」を「OFF」に設定している場合や海外での利用時はワールドウォッチは表示されません。

サマータイム

海外での利用時に表示される滞在国の時刻やワールドウォッチで表示される各地の時刻を1時間進めて表示します。

1 MENU▶設定▶時計▶サマータイム▶ON・OFF

＜発信者番号通知＞

相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機が発信者番号表示可能なときだけ利用できます。

ネットワークに設定する

MENU 1 7

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 MENU▶サービス▶発信者番号通知▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
発信者番号通知設定	▶通知する・通知しない
発信者番号通知設定確認	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能)▶発番号設定▶通知しない・通知する

- 「発番号設定」を解除するには、「発番号設定消去」を選択します。このとき、通知／非通知は「発信者番号通知設定」に従って動作します。

「186」／「184」で「通知する」／「通知しない」を設定する

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

発信者番号を通知する場合

1 186→相手先の電話番号の順に入力
▶または(発信)

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

発信者番号を通知しない場合

1 184→相手先の電話番号の順に入力
▶または(発信)

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンス(P.400参照)が聞こえたときは、「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
- 「圏外」が表示されているときは「発信者番号通知」を設定できません。

＜自局番号表示＞

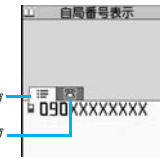
MENU 0

自分の電話番号を確認する

- 自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 MENU▶電話帳▶自局番号表示

- を押してタブを切り替えることができます。
- 個人データの登録／表示についてはP.373参照。



自局番号表示画面

お知らせ

- 2in1のモードがデュアルモードの場合は自局番号表示画面で(切替)を押すと、Aナンバーまたは Bナンバーに切り替えることができます。Aナンバーには「A」が、Bナンバーには「B」が表示されます。
- 2in1利用中に「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)」を行う場合、正しいBナンバーを取得するために、「2in1機能OFF」(P.406参照)を行ってから、再度2in1設定をONにするか、「Bナンバー自動取得」(P.374参照)を行ってください。
  また、「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)」を行う場合も、正しい所有者情報に更新するために、「2in1機能OFF」を行ってください。